



# NOZAWA news

やすらぎと安心の創造

株式会社ノザワ  
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>

Vol. **5**

2006 — June  
平成18年6月発行

## つくばエクスプレス [柏の葉キャンパス駅]

2005年8月24日に開業した「つくばエクスプレス」は、秋葉原と筑波研究学園都市を結ぶ、20の駅から成る首都圏北東部の動脈路線です。

各駅にはそれぞれコンセプトがあり、柏の葉キャンパス駅は「ゆらぎを感じる駅」。西面外壁には形に特長を持つGRCパネルを使用し、東面外壁はアスロック表面にウレタン塗装のパターン塗りをを行い、「流れ」を表現しています。

所在地：千葉県柏市  
設計：鉄道・運輸機構 東京支社建築課  
アーキテクトオフィス  
施工：鹿島・鴻池・青木あすなるJV  
外壁：アスロック100mm厚  
ウレタン塗装の上、光触媒塗装  
主な掲載誌：鉄道建築ニュース2005年9月号  
日経アーキテクチャ2005年9月19日号  
新建築2004年12月号

## アスロック 7 施工レポート



(写真提供：鉄道建築協会)



(写真提供：日経BP社)



# LEXUS日本開業に伴い、 店舗外壁にカラーフロン等が採用されました

## レクサス星が丘

名称 レクサス星が丘  
 設計 レクサス店舗設計共同体  
 施工 大林組  
 外壁 カラーフロン  
 (指定色：つや消し黒)  
 レールファスナー工法  
 (花こう岩仕上げ)



1989年に北米で創設された「レクサスブランド」は、「高級の本質」を常に追求していますが、「個性」や「プレミアム感」に日本でも対応すべく、2005年8月に全国143店舗を同時オープンし、お客様をお迎えしています。

店舗は、レクサスならではの「高級感」はもとより、全てのお客様に同じ印象と質の高い「おもてなし

を提供するために、外観・内装のデザインと機能を統一し、全国に展開しています。

このコンセプトで設計された店舗は、高級感あふれる外壁に、カラーフロン（指定色：つや消し黒）と、レールファスナー工法（花こう岩仕上げ）が標準仕様化され、143店舗中136店舗にご採用いただきました。

### カラーフロンについて

カラーフロンは、塗装ロボット3基を備えた最新鋭の完全自動塗装ラインで生産した化粧パネルで、表面には低汚染型フッ素樹脂塗料を使用しています。





# つくばエクスプレス「みらい平駅」

掘割式地上駅で、上屋外壁にはデンロックBのカラーフロンが、ホーム壁にはフラットパネルのカラーフロンメタリックが採用されています。写真の通り、ホームの点検口扉にも同材が使用され、意匠の連続性を損なわない設計になっています。

名称：つくばエクスプレス「みらい平駅」  
所在地：茨城県筑波郡谷和原村  
設計：鉄道・運輸機構 東京支社建築課  
IMA建築設計事務所  
施工：熊谷・大日本土木・森本JV  
外壁：デンロックBカラーフロン  
ホーム壁：アスロック60mm厚カラーフロンメタリック



## ワンポイント レッスン

### 震災に学ぶ安全施工 ③

最近、地震計測技術の発達により、数秒前に大揺れを予測出来るようになったとか。しかし、これだけでは万全ではありませんので、「地震が起きても破損・脱落を起こさない施工」について、ご紹介を続けます。

今回の紹介事例は、現場タイル張りのタイル剥離事例です。二つの写真は同じ建物ですが、地震の方向性により、変位に大きな差が出たと思われます。変位が大きかったと思われる壁面では、窓の四隅でタイルの剥離が発生しています。

これは、タイルロックの8mm目地部分にタイルを5mm目地で張ったことが原因と思われます。一般目地部分ではこの方法でも問題ないと思われますが、窓横部分では10mm以上、コーナー部分では15mm以上の目地を取るようご設計ください。



(変位が大きかったと思われる壁面)



(変位が大きくなかったと思われる壁面)



ご質問は、カスタマーズ・サポート・センターでお答えします。メール送ってね。  
support@nozawa-kobe.co.jp

## 異人館博士の Q&A

**Q7.** アスベスト処理工事の際によく耳にする「建設技術審査証明書」とは何ですか？

**A7.** 「建設技術審査証明書」は、財団法人日本建築センター（BCJ）が、建築物等の各種の技術（設計、材料、部材、構法、施工、検査、保全、改修、解体等）に関し、民間で開発された様々な新しい技術について審査・証明を行うものです。

**解説** 審査証明は、技術分野別に約15種類有りますが、アスベスト処理工事に係るものには「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」の「除去工法」と「封じ込め工法」があります。除去工法は、既存の建築物に施工されたアスベスト含有吹付け材を、アスベスト粉じんの飛散防止を十分に配慮しながら、安全に除去する技術です。また封じ込め工法は、同様に安全に封じ込める技術です。当社は、この2工法を「J・P・Iシステム」で1990年に審査証明取得し、実績を積み重ねてきました。



国土交通省監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」では、吹付けアスベスト処理を行う施工業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料が必要としており、「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術の建設技術審査証明書」が、それを証明する資料であるとしています。

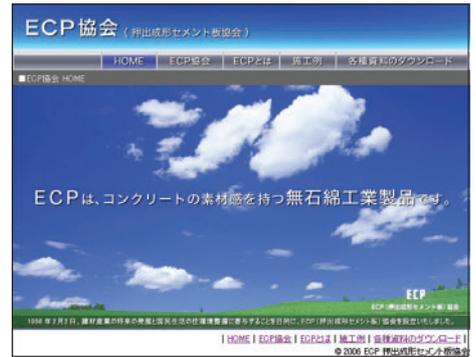
アスベスト処理工事を発注される場合は、「建設技術審査証明書」を取得している業者を選ぶことをお勧めします。詳しくは、財団法人日本建築センターのホームページをご覧ください。

<http://www.bcj.or.jp/>

## 押出成形セメント板協会 (ECP協会) がホームページを開設しました。

当社が入会しているECP協会が、ホームページを開設しました。このホームページからは、協会が発行する「ECP施工標準仕様書」「ECP安全作業標準書」「ECPの解体工事における石綿対策」などの資料がダウンロード出来ますので、ご利用ください。

<http://www.ecp-kyoukai.jp>



## カスタマーズ・サポート・センター (お客様相談室) を開設しました。

既に「異人館博士のQ&A」でご質問にお答えしていましたが、タイムリーなご返答を行うべく、カスタマーズ・サポート・センターを開設しましたので、ご利用ください。ご質問によっては、少しお時間をいただく場合がありますが、早い対応を心がけていきますので、次のメールアドレスに、ご質問、ご要望などをお寄せください。

**カスタマーズ・サポート・センター**  
→ [support@nozawa-kobe.co.jp](mailto:support@nozawa-kobe.co.jp)



## 神戸あれこれ (編集後記に代えて)

### ◇第五話 「神戸居留地…昨日・今日…」

旧神戸居留地は開港とともに設けられ、街路、街路樹、公園、街灯、下水道などが整備されました。当時の商館で現存するのは十五番館（ノザワ所有）ですが、下水道の一部は今でも現役で雨水を海に運んでいます。2004年の台風では、ここから海水が逆流し、居留地の一部が浸水しました。地下の送電線も海水に浸かって停電したため、二台の発電車が当社の前にやって来て、居留地に昼夜を問わず送電してくれました。

美観地区を目指す居留地内は、屋外に自動販売機を置かず、緑化と清掃に力を入れています。もちろん、くわえタバコ禁止！ここ数年は、銀行の統配合で空いたビルの一階にブランドショップが次々とオープンし、ビューティフルにファッショナブルがプラスされました。少し前までは、当社の場所をタクシーに説明する際、「神戸市立博物館の隣」で通じましたが、今は「某有名ブランドショップの隣」の方が通じます。時代はまさに進行形！

次回は、六甲の霧女のお話です。



C.B.バーナード筆「居留地西側の境界」  
(写真提供:神戸市立博物館)